

# 全国宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム2005

2006年、  
高齢者介護は大きく変わる

徹底討論!!  
小規模多機能ホームの  
本質と制度化

主 催：全国宅老所・グループホーム  
研究交流フォーラム2005」実行委員会  
宅老所・グループホーム全国ネットワーク  
あいち小規模多機能ケア連絡会

2005.2.26 (sat) - 27 (sun)

会場 名古屋国際会議場

(名古屋駅より地下鉄で約20分)

共 催 愛知県痴呆性高齢者グループホーム連絡協議会  
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会  
地域サテライトケア推進プロジェクト  
小規模多機能ホーム研究会

趣 旨

住み慣れた地域で、なじみの関係や近隣とのつながりをたいせつにしながら暮らし続けたい。

高齢者、なかでも痴呆性高齢者や家族の、こうした思いや願いに応えて、「通って、泊まって、自宅にも来てくれて、いざとなったら住むこともできる」連続的・一体的な支援を生み出してきた「宅老所」「グループホーム」は、「小規模多機能ホーム」を生み出し、新たに介護保険改革では、「地域密着型サービス・小規模多機能型居宅介護（仮称）」として、介護保険サービスのひとつに加えられることになっています。

このたびのフォーラムでは、「小規模多機能ホーム」をメインテーマに、地域生活を支える小規模多機能ケアの「本質」を掘り下げ、質を確保するための取り組みやこれから展望について議論を深めることを目的に開催します。

2月26日（土）

時 間	内 容
12:00～12:50	<b>オープニング「ようこそあいちへ」</b> あいち小規模多機能ケア連絡会が、宅老所のすばらしい世界へご案内いたします。
12:50～14:00	<b>基調ディスカッション 「小規模多機能ケアの暮らしとケア」</b> パネラー ぶどうの家（岡山県） 代 表 津 田 由起子 託老所あんき（愛媛県） 代 表 中 矢 暁 美 コーディネーター 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄
14:00～14:20	休 憩
14:20～15:50	<b>パネルディスカッション 「小規模多機能ホームの本質と可能性」～地域で暮らすを支援する取り組み～</b> <b>第1部 制度・政策から見る「小規模多機能」</b> 行政説明・パネラー 厚生労働省老健局計画課 課 長 川 尻 良 夫 パネラー 岩沼市（宮城県） 市 長 井 口 経 明 高浜市（愛知県） 市 長 森 貞 述 コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之
15:50～16:10	休 憩
16:10～18:10	<b>第2部 実践から見る「小規模多機能」</b> パネラー のぞみホーム（栃木県） ホーム長 奥 山 久美子 栃木県保健福祉部高齢対策課 課 長 菅 谷 富士雄 コレクティブ・いつでんどこでん（熊本県） 代 表 川 原 秀 夫 山鹿市市民福祉部福祉総務課（熊本県） 課長補佐 奥 村 正 文 厚生労働省老健局振興課 課 長 香 取 照 幸 （調 整 中） コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之
19:00～21:00	<b>懇親会</b>

プログラム  
2月27日(日)

時 間	内 容
9:30～12:00	<b>分科会</b>
	<b>第1分科会「小規模多機能ホームをこれから始めたい方へ（初級編）」 「実践者が語る小規模多機能ケア」</b>
	<div> <div>パネラー</div> <div>グループもみじ（長野県）</div> <div>かくれんぼ（愛知県）</div> <div>宅老所ふるさと（三重県）</div> <div>サポーター</div> <div>あいおい損害保険株式会社クオリティライフ事業部</div> <div>コーディネーター</div> <div>特別医療法人恵仁会・中込介護事業部（長野県）</div> </div> <div> <div>代 表</div> <div>代 表</div> <div>代 表</div> <div>次 長</div> <div>部 長</div> </div> <div> <div>田 中 正 廣</div> <div>水 野 千恵子</div> <div>西 村 さとみ</div> <div>山 田 滋</div> <div>竹 重 俊 文</div> </div>
	<b>第2分科会「デイサービスやグループホームを実践していて、小規模多機能ホームを始めたい人へ（発展編）」 「ひとつのサービスから多機能へ」～ひとりの事例から考える小規模多機能ケアへの展開～</b>
	<div> <div>パネラー</div> <div>ホームひなたぼっこ（宮城県）</div> <div>ひまわりの家（静岡県）</div> <div>ふじホーム（愛知県）</div> <div>コーディネーター</div> <div>立教大学コミュニティ福祉学部</div> </div> <div> <div>代 表</div> <div>代 表</div> <div>代 表</div> <div>教 授</div> </div> <div> <div>布 田 幸 子</div> <div>西 谷 祐 一</div> <div>大 竹 安 代</div> <div>森 本 佳 樹</div> </div>
	<b>第3分科会「運営・組織マネジメント」 「小規模多機能ホーム実践における運営」</b>
	<div> <div>提案者</div> <div>ライフデザイン福祉経営研究所</div> <div>パネラー</div> <div>みんなの家（静岡県）</div> <div>共生舎なんてん（滋賀県）</div> <div>コーディネーター</div> <div>植草学園短期大学</div> </div> <div> <div>代 表</div> <div>代 表</div> <div>代 表</div> <div>助教授</div> </div> <div> <div>大 内 俊 一</div> <div>奥 田 俊 夫</div> <div>溝 口 弘</div> <div>宮 下 裕 一</div> </div>
	<b>第4分科会「地域医療・ターミナルケア」 「宅老所・グループホーム・小規模多機能ホームにおける痴呆性高齢者に対する医療支援」</b>
	<div> <div>パネラー</div> <div>このゆびとーまれ（富山県）</div> <div>いらはら診療所（千葉県）</div> <div>訪問看護ステーションまつざき（愛知県）</div> <div>厚生労働省老健局老人保健課</div> <div>コーディネーター</div> <div>大井戸診療所（群馬県）</div> </div> <div> <div>代 表</div> <div>院 長</div> <div>管理者</div> <div>課長補佐</div> <div>院 長</div> </div> <div> <div>惣 万 佳代子</div> <div>苛 原 実</div> <div>松 崎 百合子</div> <div>佐 原 康 之</div> <div>大 澤 誠</div> </div>
	<b>第5分科会「家族支援」 「痴呆介護地域支援ネットワークの構築に向けて」～家族支援プログラムを考える～</b>
	<div> <div>報告者</div> <div>呆け老人をかかえる家族の会愛知県支部</div> <div>パネラー</div> <div>呆け老人をかかえる家族の会千葉県支部世話人</div> <div>一ツ木在宅介護支援センター（愛知県）医療ソーシャルワーカー</div> <div>東郷町役場民生部福祉課（愛知県）</div> <div>コメンテーター</div> <div>圓生会松本診療所・高齢者メンタルクリニック（大阪府）</div> <div>コーディネーター</div> <div>名古屋大学大学院医学系研究科老年科学教室</div> </div> <div> <div>代 表</div> <div>介護家族</div> <div>課長補佐</div> <div>院 長</div> <div>医 員</div> </div> <div> <div>尾之内 直 美</div> <div>合 江 みゆき</div> <div>三 浦 美香子</div> <div>土 居 肇</div> <div>松 本 一 生</div> <div>益 田 雄一郎</div> </div>

時 間	内 容
9:30～12:00	<b>第6分科会「地域共生」</b> <b>「高齢者、障害者、子どもも地域でともに暮らす実践～共生型小規模多機能ケア～」</b>
	パネラー 菜の花（愛知県） 代 表 榊 原 弘 美 地域福祉サポートちた（愛知県） 理事長 松 下 典 子 たすけあい佐賀（佐賀県） 代 表 西 田 京 子 サポーター 愛知県健康福祉部高齢福祉課 課 長 藤 田 聡一郎 コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 教 授 後 藤 澄 江
	<b>第7分科会「地域福祉拠点」</b> <b>「地域密着！ご近所ケア～あなたとまちを結ぶ『ケア』考えます～」</b>
	提案者・パネラー まちの縁側育くみ隊（愛知県） 代表理事 延 藤 安 弘 パネラー ぼちぼち長屋（愛知県） 管理人 遠 藤 学 名古屋キリスト教社会館（愛知県） ケアマネジャー 今 井 正 子 瑞穂デイセンターえんがわ（愛知県） 代 表 吉 川 富士子 福祉の家（愛知県） 事務局長 加 藤 勝 コーディネーター 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄
	<b>第8分科会「介護予防・生きがい支援」</b> <b>「地域での暮らしを支える生きがい支援～これからの介護予防～」</b>
	パネラー さわかファミリーサポートセンター（愛知県） 理事長 丹 下 多栄美 宅老所「デイホーム鏡川」（高知県） 代 表 佐 藤 政 子 稲城市高齢障害介護課支援センター（東京都） 課長補佐 香 山 芳 子 サポーター 全国社会福祉協議会地域福祉部 副部長 渋 谷 篤 男 コーディネーター 愛知淑徳大学医療福祉学部 講 師 永 田 祐
	<b>第9分科会「グループホーム」</b> <b>「グループホームにおける人間の尊厳とケアについて」</b>
	提案者・コーディネーター 桃山学院大学社会福祉学部 教 授 坪 山 孝 パネラー そのやまの里（神奈川県） グループ長 塚 田 明 人 サンライフたきの里（石川県） 施設長 岩 尾 貢 愛知県稲沢市グループホーム第二大和の里 管理者 佐 藤 和 夫

時 間	内 容
9:30～12:00 (150分)	<b>第10分科会「自治体の支援」</b> <b>「小規模多機能ホームへの自治体の支援」</b> パネラー デイホームあいあい(栃木県) 代 表 高 木 敏 江 大喜デイサービスセンター(愛知県) 施設長 藤 本 久 子 宇都宮市保健福祉部高齢福祉課 課 長 福 田 渡 名古屋市健康福祉局高齢福祉部高齢施設課 課 長 佐 藤 良 喜 サポーター 厚生労働省老健局計画課 課長補佐 中 井 孝 之 コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～15:00 (120分)	<b>総括ディスカッション「地域生活を支える小規模多機能ケアの展望」</b> <b>～制度化になっても変わらない小規模多機能ケアの真髄を語る～</b> 提案者・パネラー 東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高 橋 誠 一 パネラー ことぶき園(島根県) 理事長 槻 谷 和 夫 きのかエスポアル病院(岡山県) 院 長 佐々木 健 (調 整 中) 厚生労働省老健局計画課痴呆対策推進室 室 長 大 島 一 博 コーディネーター 福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット/えにし結び係 国際医療福祉大学大学院 教 授 大 熊 由 紀 子
15:00～15:10	閉 会

参加定員 2005人

参加費 12,000円

資料代 3,000円  
(宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員:1,000円/1会員1人のみ)

交流会 7,000円

申し込みに関するお問い合わせ先

JTB仙台支店法人営業部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-6-1 佐々重ビル6階

TEL: 022-263-6713 FAX: 022-263-6693

担当: 堀越・阿部友香里

受付時間・平日/9:30～17:30 土・日・祝日/休み

内容に関するお問い合わせ先

全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2005 実行委員会事務局

〒981-0954 仙台市青葉区川平5-3-18-207 (CLC 東日本内)

TEL: 022-719-9240 FAX: 022-719-9251

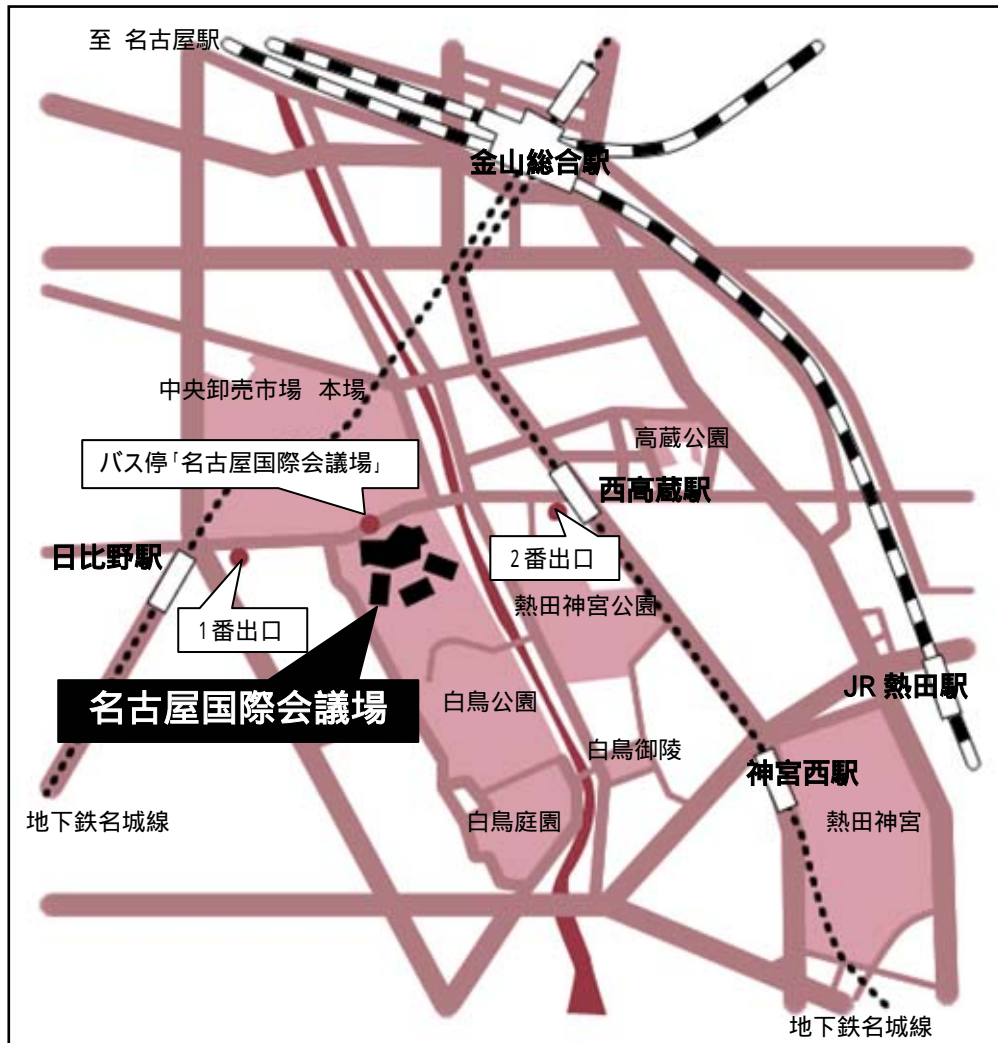
担当: 山越・萩原

◇宅老所・グループホーム全国ネットワークのホームページ◇

[http://www.clc-japan.com/takurousyo\\_net/](http://www.clc-japan.com/takurousyo_net/)

全国の宅老所・グループホームの検索ができます!

## <<交通のご案内>>



名古屋駅	タクシー	名古屋駅 → 名古屋国際会議場	20分	約2,000円
	地下鉄	名古屋駅 → 東山線「栄」のりかえ 桜通線「久屋大通」 名城線 < 名古屋港行き 1番出口 → 名古屋国際会議場 新端橋行き 2番出口 徒歩約5分	30分	地下鉄230円
JR + 地下鉄		JR在来線「名古屋駅」 → 「金山」地下鉄のりかえ → 名城線 < 名古屋港行き 1番出口 → 名古屋国際会議場 新端橋行き 2番出口 徒歩約5分	30分	JR160円 + 地下鉄200円
名古屋 空港	タクシー	名古屋空港 → 名古屋国際会議場	40分	約7,000円
	リムジンバス + 地下鉄	名古屋空港 → 地下鉄「黒川」 → 名城線 < 名古屋港行き 1番出口 → 名古屋国際会議場 新端橋行き 2番出口 徒歩約5分	50分	バス470円 + 地下鉄260円

公共交通機関をご利用下さい